

学生によるイベント報告

「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」の運営に参加して

機械工学科5年 中出 啓介

私は8月3日・4日と10日・11日の二日程で行われた、JST採択事業「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」に学生補助のリーダーとして参加しました。本プログラム内容は、受講生が持参したフィギュアなどの小物形状を、私が卒業研究で取り組んでいる粉末冶金法の技術を用いることによって、レリーフ状の金属製品として複製するというものです。大和郡山市内の中学生を対象に実施し、延べ60名の中学生と中学校教員が参加しました。また、実習工場での手仕上げ作業における「ネジのペンダント作り」も行いました。準備作業は大変でしたが、受講

生全員が製作に成功し、アンケート結果も非常に好評で、金属加工の面白さを伝えることができ、いい経験になりました。



中学生が製作した作品

「ひらめき☆ときめきサイエンスプログラム(小さな生き物「微生物」の働きをしらべよう)」の運営に参加して

物質化学工学科4年 緒方 七海

今回、私は小学生が参加するこのプログラムの運営補助員として二度目の参加をさせていただきました。昨年度は酵母に注目した実験内容で、パン作りの工程の観察をして酵母の役目を学ぶ、酵母の反応を利用した電池、パン酵母でのアルコール発酵などの実験を行い、私自身とても勉強になる内容でした。今回は更に麹菌を加えて、水と麴で甘酒を作り、麴の力によって糖が出来ることを味覚で確かめ、また糖に反応する試薬を用いて視覚によって確認する実験を行いました。普段勉強することでしか知る事のない内容を、実際に実験をして確認できたのでとてもためになりました。また小学生の子供たちと一緒に楽しく実験ができて良い経験になりました。



実験の様子

「ISATE2013」の運営に参加して

機械制御工学専攻1年 野村 亜未

第7回国際工学教育研究集会(The 7th International Symposium on Advances in Technology Education, 略称ISATE2013)が、9月25日から27日まで、奈良県新公会堂で開催されました。今年は奈良高専がホスト校であったため、私も国際学会ISATE2013の運営に参加させていただきました。これまで私は、国際学会で発表をしたことはありましたが、運営として参加させていただくのは今回が初めてでした。私たち学生は、パソコン接続の補助や会場の照明、質問時のマイクおよび計時などを担当しており、慣れない英語で大変でしたが、周りの先生方や学生の皆さんに手伝っていただき、無事終えることができました。また、運営に参加すると共に、海外の方の教育についての発表を聞くこともでき、普段は自分たちの研究分野の発表しか聞けないため、大変貴重な経験となりました。今回の運営への参加を通して、私は英語の必要性を強く感じ、同時にもっと英語を勉強しようと思いました。英語学習のモチベーションを継続的に保つためには、やはり外国の方と触れ合うことが大変重要であると再認識し、今回の学会が大変良い刺激となりました。この経験を活かして、これからもっと研究および英語を頑張っていこうと思います。



会場となった奈良県新公会堂「能楽ホール」



スタッフの皆さん、お疲れ様でした

